

新山協ニュース

△ 発行者 平田大六 △ 発行所 新潟県山岳協会
〒940 長岡市学校町1-12-23 室賀輝男方 TEL 0258-32-0428

第11回富山北信越国体・第45回福岡国体監督選手団

国体ニュース

国体委員会

1. 選手団紹介

別表参照

2. 北信越大会までの各チーム

現地トレーニング計画

◎成年男子

6月1日～3日
8日～10日
23日～25日

◎少年男子

7月 不明
6月8日～10日
7月13日～15日

◎成年女子

7月13日～15日
6月1日～3日
8日～10日

◎少年女子

7月13日～15日
25日～29日

以上決まりました。選手の都合により多少の変更はあると思います。協会の皆様で、日程の都合のできる人がありましたら、ご協力をお願いします。

3. 北信越代表者会議報告

去る5月26日～27日、富山県にて代表者会議があり、当

高体連の指導の関係もあり、記録表、装備チェックは良いが、天気図については、

①縦走競技については、
・天気図、記録表、装備チェックを廃止したい。
・記録表、装備チェックは良いが、天気図については、

委員会より高橋、森の二名が出席致しました。以下、概略を報告します。
最初に富山県より北信越国体競技の簡素化について提案があり、それを中心に論議がなされました。

- 949-33 ○成年男子
監督 稲田春男 柿崎市百木1023 (高田ハイキングクラブ)
選手(CL)阿部隆司 長岡市定明町85 (高田ハイキングクラブ)
O・P (ワンポイント) 昨年、北海道国体の選手であり、今年は踏査に燃えています。
- 740-11 選手(SL)金沢誠也 笹神村笹岡1203-1 (笹神村うすゆき山の会)
O・P 予選会出場は何度かあり、今迄チャンスに恵まれず、今年は福岡国体でガンバルゾ!
- 959-21 選手 小菅 剛 新潟市寺尾西3-25-30 (笹神村うすゆき山の会)
O・P 新発田高校OB。高校時代からの国体ボーイ、踏査のセンスは抜群です。
- 成年女子
959-21 監督 荻部一雄 笹神村赤水286-3 (笹神村うすゆき山の会)
943-01 選手(CL)設楽なつ子 上越市小安新田76 (デラシネ山の会)
O・P 昨年、北海道大会で入賞したママさん選手。今年は後輩の育成にと、もう一度ガンバル所存。
- 850-27 選手(SL)本間雅美 新潟市五十嵐1の丁7817-7 (デラシネ山の会)
O・P 新発田高校OB。一昨年京都国体の選手、今は体育課の学生で毎日身体を動かしています。
- 957 選手 今井由佳里 新発田市岡田1990 (デラシネ山の会)
O・P 新発田高校OB。今年は東京方面の大学に入り、そこから通ってのトレーニングは大変ですが、体力には自信ありガンバルゾ。
- 少年男子
監督 中村孝一 見附市昭和町1-8-1 (三条高校)
選手(CL)下村大 分水町大字地藏堂2234 (三条高校山岳部)
O・P 無口で部員に指示するよりも自分で何でもやってしまう、昨年のインターハイ全国大会にも出場。
- 選手(SL)柏川正光 分水町大字渡部1692-7 (三条高校山岳部)
O・P 何事にも積極的で、CLの下村と対称的に直ぐ口を出す。
- 選手 柿崎進也 三条市曲淵2-18-12 (三条東安山岳部)
O・P 身体が非常にやわらかい。明朗でいつも冗談ばかり言っている。
- 少年女子
監督 渡辺正之 三条市北入蔵2-9-31 (三条東高校)
選手(CL)小出あかね 田上町大字田上乙616 (三条東高校山岳部)
O・P 明るくさっぱりしている。背が高く体力はまだまだ伸びそう。
- 選手(SL)佐藤真紀 三条市四日町21-4 (三条東高校山岳部)
O・P 元気がある。地図を読んだり天気図を書いたり能力に期待したい。
- 選手 粉川潤子 三条市北新保1-5-3 (三条東高校山岳部)
O・P 落ち着いている。頑張り屋で体力も十分。活躍してくれるであろう。

・国体は競技であり、生徒の教育と分けて考えるべきではないのか。
・全体の流れとして筆記に関する競技はなくしていく方向にある。

等々の議論の末、今大会は中止となる。

② 踏査競技について

・今迄競技コースは、エリア公開であったがコース公開としたい。

・踏査は事前調査が大きな仕事であるため、近・遠県でのハンディが大きい。コース公開でそれが少なくなるため良いと思う。

・本来、踏査競技は読図力を競うもので、会場の公開、事前調査は邪道である。しかし実際の競技の運営上、又、各県のハンディ等を考えエリア公開としているもので、競技の本質から逆行するようなことは賛成できない。

・コース公開とすると、各チームの定点の正解度が高くなり、最後に時間点の勝負となる。これでは縦走競技と変わらず、踏査競技の主体性がない。

等々の論議があり、この件は今迄通りエリア公開となる。

③ その他
審判員は今迄各県3名ずつお願いしてきたが、今年は2名とし、登攀、縦走を兼任とする。

以上の論議があり、翌日は各会場を視察後、解散となりました。

今年、少年男女共、北信越

私の好きな山の花 ②

ニッコウキスゲ

下 條 莊 一

夏山の代名詞とも言うべき花が、このニッコウキスゲではなからうか。草原にオレンジ色のジュウタンを敷いたように、一面群落をなした咲き競う姿は夏の飯豊朝日の代表的な景観だろう。

夏の縦走路、空には入道空、沢より吹き上がる心地良い風、白い雪溪、草原のニッコウキスゲ、頭にイメージしただけで、堪まらなく行きたくなる一駒だ。

数年前、朝日連峰を縦走した時、孤穴付近でのこの大群落は見事であった。緩やかな斜面一面に咲き、そのお花畑を囲むように這松と雪溪が取り囲んでいた。遠く岩雲雀の鳴く声が風に乗って聞こえてくる。路端にザックを置き、寝そべり、ポーとしている時

大会は2県出場割当ての年であり、これを中心に、福岡国体フルエントリーを目指して頑張りたいと思います。

間が堪らなく良かった。連峰縦走となると、どうしてもピーク上で休みたくなるのが普通だが、登りの途中で大きな景色を前に、自分の目がどこにも焦点が合わず、ただ大ボケの色彩だけしか映らない、ボケーとした状態の中のニッコウキスゲのオレンジ色は、ピーク上で景色を見渡すよりも印象深い。

この花は一面群落をなしているが、一つ一つの花を見れば一日花で、朝咲いた花は夕方には萎れてしまう。次々と咲いて行くので何日も同じ花が咲いているように見えるのだ。

山仲間のS君が秋山行の時にこの花の種を持ち帰り庭に蒔いた所、数年で株が大きくなり花が咲いたとの事、やはり

下界では時期が早く5月に咲いてしまったそうであるが、S君いわく『自分の庭で一株位咲いた所で何も奇麗ではない。』

日山協海外委員会及び

海外登山遭難対策研究会報告

海外登山委員会 田 中 純 夫

さる6月9日・10日の2日間わたって東京・渋谷の岸記念体育会館において標記総会及び研究会が開催された。

まず第1日目、午後2時受付開始、2時30分開会挨拶、オリエンテーションのち、午後3時より海外登山遭難対策研究会が行われた。ここでは本年3月、ネパールのプロモリ(7161m)で徳島大学山岳部遠征隊が遭難死亡事故をおこし、本年「ストップ・ザ23」が成らなくなってしまうこと、今後「ストップ・ザ24」へ向けて遭難事故防止に努力してほしい旨、協力依頼があった。

続いて昨年7月、パキスタンのナンガ・パルバット、ラキオトピーク(7070m)東南稜において発生した東京農業大学農友会山岳部の落雷

死亡事故について報告、分析がなされた。報告者は事故当時現場にいた小笠原岩雄氏で、詳細な報告がなされたのち、質疑応答、学識経験者の意見発表などが行われた。1952年に戦後のヒマラヤ登山が解禁されて以来、ヒマラヤに挑んだ日本隊にかぎれば、雷による重傷または死亡した事故は今回が初めてである。ところが4000メートル以上の山は非常に落雷が起きやすい状態にある。これまでに死亡例がないのは、ただ単に天候の不順なモンスーン期を避けて、プレとポストに登山隊が集中していたからではない、ヒマラヤの落雷は特殊な例ではないことを肝に銘じておく必要がある。また人間の身体は優良な電導体であるから、アラレが降ったり、急に

風が出たりして雷の発生の前兆があったら、身体を出来るだけ低くすること、地表の突起物とならないようにするなどの注意があった。またこれに関連して、レスキューの視点から、ヘリコプターの性能からする最高到達高度の問題、トランシーバーの使える周波数帯の問題などについても、現在現地にある問題点が報告された。

続いて海外委員総会となり、平成元年度事業報告、決算説明、平成2年度事業計画、予算状況について説明があった。以上で第1日目の日程を全て終え、全員で宿泊会場へ移動、夕食後は深夜まで懇親会となった。

第2日目は朝宿泊会場より再び岸記念体育会館へ移動、午前9時より海外委員総会が再開された。

まず始めは海外登山の最新情報ということで、ネパールについては今春マカールに登頂した大西君、及びネパールのカマル氏、サルマ氏より、天山については近藤和美氏より、パキスタンについては広島三郎氏より、インドと中国については尾形好雄氏よりそ

れぞれ報告があった。続いて全体会となった。まず日山協石塚副会長の挨拶のあと、神崎海外委員長の司会のもとで各岳連（協会）よりそれぞれの海外登山についての近況が報告された。わが県については、今夏パキスタンで登山活動する旨報告しておいた。

海外委員長より、海外委員会に地区別ブロック制を導入して行きたいこと、日山協海外委員会としてのエクスペディションを計画して行きたいこと、さらにUIAA総会を1992年秋、日本で開催したい旨の報告があった。以上で2日目の日程を全て終了し、事務連絡ののち午後1時、解散となった。

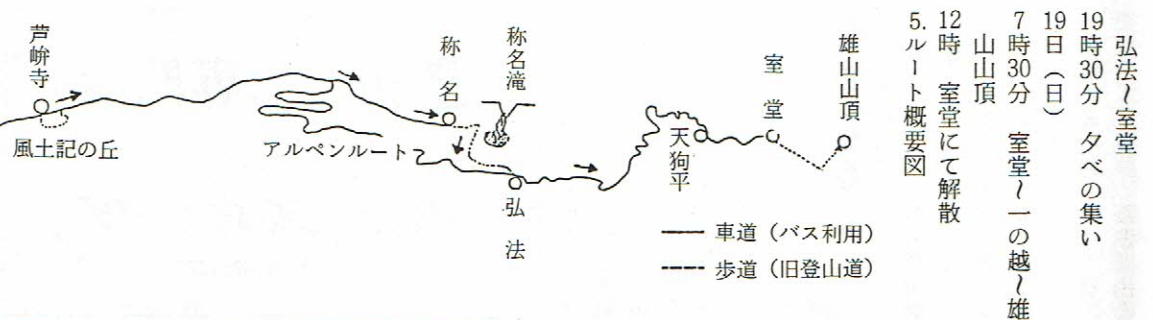
立山旧登山道開通記念イベント案内

1. 主旨
歴史ある旧登山道八郎坂を、立山黒部アルペンルート開通20年目にあたる平成2年度から再開するにあたり、立山登山の深い歴史を思い起こしながら、立山のすばらしい自然環境を満喫できる「立山旧登山道開通記念イベント」を実施し、自然保護意識の高揚と安全登山の徹底を図ろうとするものである。

2. 概要
A 事業名 立山旧登山道開通記念イベント
B 会場 富山県中新川郡立山

町芦峯寺
称名滝・八郎坂・室堂・雄山頂上 他
C 期日 平成2年8月18日（1泊2日）
D 参加人数 約300名
E 事業主体 念イベント実行委員会
（富山県・立山町等）
共催 日本山岳協会、いきいき富山観光キャンペーン実施協議会

3. イベント内容
- (1) 称名の味覚三昧、称名滝観賞
 - (2) 八郎坂探訪登山、立山登山
 - (3) ナチュラリストによる、自然歴史解説
 - C 夕べの集い（山荘3ヶ所）
「星座・宇宙について」
「高山の動植物」
「立山の歴史と文化」
 - 4. イベントスケジュール
18日（土）
8時45分 富山駅北口広場で受付
10時 芦峯寺雄山神社にてセレモニー
開会宣言、テープカット、安全祈願、アトラクション、風土記の丘（布橋）、かもしか園
12時 称名滝にて昼食
称名滝、歴史探訪クイズ、



6. 参加受付
 A 受付期間 6月20日～7月20日
 B 参加資格対称 中学生以上の健脚者とする。個人参加を原則とする。
 C 参加費 1名 約15000円とする。
 局 富山市桜町1-1-1 エスタ5階(富山地铁サ-ビス内)

岩登技術講習会案内

技術委員長 阿部信一

主旨 岩登りの初心者を対象として基礎的技術を研修する。
 日時 平成2年7月15日7時～15時
 会場 新発田市内ノ倉杉滝岩 講師 日山協公認指導員 他
 携行品 岩登りに必要な用具
 ゼルプストバンド、カラビナ2、ヘルメット、シュリ
 ンゲ用ロープ(φ6mm、1・5m×2、2・0m×2)、手袋、エリのついた上衣、ハーケン、ハンマー、8環、各パーティーでロープ

参加費 700円(当日)
 申込 ハガキに氏名、年令、住所、所属及び以下の「岩登技術講習会要点」のうち1～8項目で、自分でマス

①076414214274
 3. 登り方 三点支持、ホール
 ドスタンス、ルートファイ
 ンテング、クライムダウン
 4. 懸垂下降(アッパザイレン)
 8環、肩がらみ
 5. 確保 肩、胸、グリップ、
 6. 登攀 ブルージック登攀、
 7. 脱出
 8. タイヤ落し

日本山岳協会

第2種、地区指導員 検定実施案内

日時及び場所

第1回 岩登り技術

平成2年8月4日～5日

新発田市杉滝岩

担当 三富一弥

0258122218997

第2回 氷雪技術

平成3年2月23日～24日

長岡市風谷山

担当 田中栄弘

025813415595

検定方法及び資格

日本山岳協会公認指導員検定基準による。第2種指導員は現在地区指導員の資格を有し、年令25才以上、山歴7年以上(冬山5年以上)地区指導員は山歴5年以上(冬山5年)で所属団体の推せんする人。

期間 平成2年9月29日(土)～10月1日(月)
 会場 滋賀郡滋賀町比良山系 Cコース 八雲原ノ武奈ヶ岳ノ北比良峠

参加者 リーダー 池田藤三

新潟市小針南台10-21

全国健康福祉祭

びわこ大会登山の部参加者

選手 中村武雄

新潟市真砂3-7-11

選手 田上八重子

新潟市寺尾西4-3-41

新潟市小針南台10-21

新潟市小針南台10-21

登山用品専門店

信頼できるパートナー

大新スポーツ

新潟市東堀6 ☎(025)222-3736

申し込み及び検定料

各団体宛発送済の所定用紙に必要事項記入の上、検定料5000円を添えて協会事務局に申し込む事。
 切 7月21日必着